



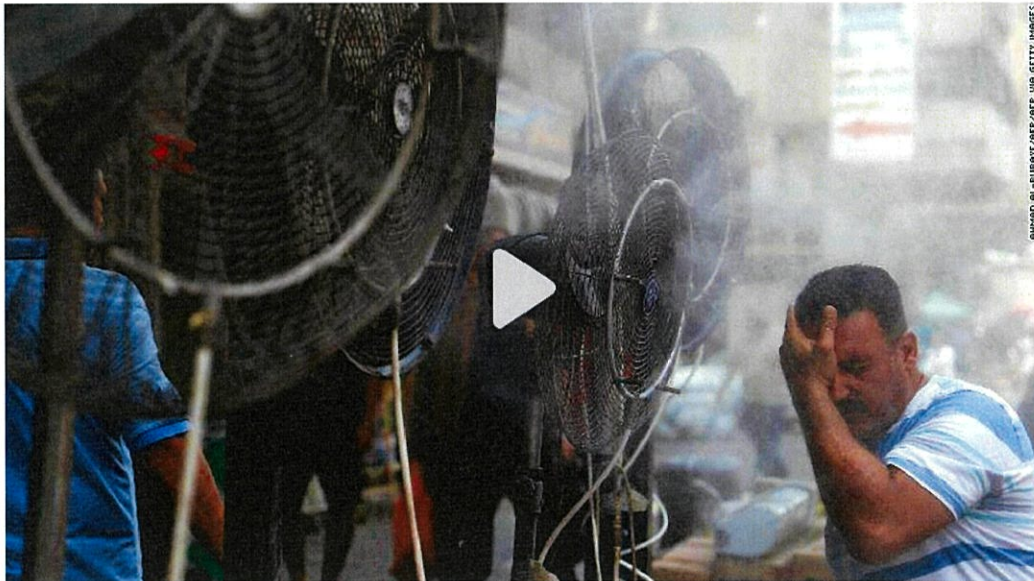
🏠 > USA

熱波で9千万人以上に警報、各地で死者 NYやボストンも猛暑 米国

© 2022.07.25 Mon posted at 16:37 JST

2

PR



1850年以降の世界の気温変化がグラフィックでわかる

(CNN) 米首都ワシントンやニューヨーク、ボストンの大都市圏を含む北東部から中南部にかけての1帯で猛暑が続いている。24日の最高気温は40度を超えているとみられ、全米で9000万人以上を対象に熱波関係の警報が出されている。

ニューヨーク市では23日、少なくとも1人が熱中症のため死亡した。この人には基礎疾患があったという。ニューヨークのこの日の最高気温は36度を超すと予想されていた。

ペンシルベニア州アレンタウンでは21日、エアコンのない部屋で73歳の男性が死亡しているのが見つかった。この男性も糖尿病などの基礎疾患があった。

このサイトでは、利用状況の把握や広告配信などのために、Cookieなどを使用してアクセスデータを取得・利用しています。これ以降ページを遷移した場合、Cookieなどの設定や使用に同意したことになります。Cookieなどの設定や使用の詳細、オプトアウトについては詳細をご覧ください。

テキサス州ダラスでは先週、やはり基礎疾患をもつ66歳の女性が死亡した。20日にはサウスダコタ州の国立公園で、22歳のハイカーが水を切らし、脱水症や熱中症と思われる症状で死亡した。

フィラデルフィアやボストン、首都ワシントンでは最高気温が35度を超える見通しで、湿度が高いことから体感温度はさらに上昇が予想される。

ボストン市のミシェル・ウー市長は、19日から続いていた熱波関連の緊急警報を25日まで継続すると発表した。24日午後、ボストンの気温は37度を超え、この日の気温としては89年ぶりの暑さになった。

同市は冷房センターや屋内プール、図書館などを市民に開放している。

電力会社によると、ボストンのドーチェスター地区では24日、猛暑のために約7500軒で停電が発生した。約1万2500軒については同日の早い段階で復旧できたとしている。

ニューヨーク市も24日午後8時まで猛暑に対する注意報が出され、電力会社が散発的な停電の対応に当たった。

フィラデルフィアも24日の最高気温が37度を超すと予想され、当局は熱波に関する健康上の非常事態宣言を延長した。当局は戸別訪問やホームレス支援などの活動を強化している。

西部ではペンシルベニア州ピッツバーグ近郊のグリーンズバーグで前日の暴風雨により、24日も1万軒以上で停電が続いている。

市長が熱波関連の非常事態を宣言した首都ワシントンは、24日の気温が37度を超すと予想され、少なくとも25日午前まで非常事態を延長する。

ニューヨーク州のキャシー・ホークル知事は住民に冷房センターの利用を促し、近隣の弱者に気を配ってほしいと呼びかけた。

2



米国

今、あなたにオススメ[PR]

ソニーグループすげえ! 実家の価値を調べられるサイトを開発
おうちクラベル

ソニーグループすげえ持ち主じゃなくても実家の価値を調べる方法
おうちクラベル

「日本にある家なら全部OK」実家の価値を調べられるサイト
株式会社NTTデータ スマートソーシング

「日本にある家なら全部OK」実家の価値を調べられるサイト
HOME4U

Recommended by

PR

Video



このサイトでは、利用状況の把握や広告配信などのために、Cookieなどを使用してアクセスデータを取得・利用しています。これ以降ページを遷移した場合、Cookieなどの設定や使用に同意したことになります。Cookieなどの設定や使用の詳細、オプトアウトについては詳細をご覧ください。